

市民生活第一に

お金の使い方をかえよう!

9月定例会での

勝川議員の議案等の態度

賛成した議案

〔27議案〕

一般会計など10本の補正予算

・保育所等の感染防止の備品購入費補助

・下垂木地区道路改工事費

など

水道会計・財産区会計・下水道他特別会計13本の決算認定

コロナ対応の地方税財源の確保を求める意見書の提出

など

反対した議案

〔9議案〕

損害賠償請求事件に係る弁護士委託費用の着手金657万8千円を追加、期間と限度額を事件の完結するまで無期限、限度額無制限と設定する議案

総務委員会からは「付帯決議」というものを付しての議案が回ってきましたが、付帯をつけたところでその実効性が担保される補償はなくこれにも反対。限度のない債務負担行為をはずし、予算内での執行(予備費)を求める修正案に賛成。(少数否決)

家代の里地内の土地売買については市を訴えた不動産業者との間で裁判が始まっています。土地売買のあやまりについて、市長はじめしっかりと責任取ってもらわなければなりません。2億6千万円を越す多額の賠償金の請求に対しては市として裁判を通してしっかりと主張をしていただき、市民利益を守っていただきたいと考えます。

駅前駐輪場、駐車場の指定管理制度の変更

駅前の駐輪場や駐車場の指定管理制度を使用料金制度と違って、管理者側が価格設定の変更ができて、利潤が上がった分はもうけとして取得ができる制度に変更するための条例改正。

指定管理や民間委託が広がる中で、コロナの影響を受け、収益が激減する公共施設も多く、しわ寄せは働く人たちのボーナスカットなどに。

指定管理導入施設

ならこの里、22世紀の丘公園、掛川城天守閣、竹の丸、生涯学習センター、さんりーな、ききょう荘などの観光施設・文化施設・ホール・公園・駐車場・スポーツ施設・公共住宅・老人福祉施設・児童館など44施設



令和元年度決算の認定一般会計

・待機児童の解消、学童保育の定員オーバー

↓ 子育て支援は道半ば

・税金の収納率が上がる反面、差しおさえや通常の国保の保険証を渡さないなどの対応。

・生活保護受給率は全国平均の1/6、就学援助利用は全国平均の約半分。

・大企業に手厚く、中小企業にはおさむい支援



待機児童内訳(2020年9月)

・認可園には入れなかった人数
228人(昨年同月比 67%)
(掛川192人・大東32人・大須賀4人)
昨年より改善されていますが、0才児60人、1才児66人、2才児43人と3才児未満の待機が多い

・国定義の待機児童人数
37人(昨年同月比 39%)
(掛川35人・大東2人・大須賀0人)

国保・後期高齢者医療保険・介護保険決算認定

・高すぎる保険料・料が負担になつており、安心して医療介護にながらない。

・後期高齢者広域連合は保険料を値上げ。

・高齢化率が上がる割に介護保険の認定率は上がっていない。保険に任せる予防事業ばかりを強調するのは問題。介護度の低い内に適切なサービスを受け、重症化させないことが重要。

など

都市計画の恩恵を受けない区域を含めて徴収している

都市計画税16億3785万5千円

の使い道が決算書で示されなかったため追加配布を求めた。

市民にも都市計画の内容やお金の使い方を示すべき。

8月臨時会の補正予算に賛成しました

8月19日に8月臨時会がコロナ対策等の審議のため開催されました。

・学校への一人一台タブレット導入に際して、ネット環境のない家庭への貸し出しもできる移動WiFi機器を必要数確保

・プレミアム商品券(1家庭1万円分)で一般1万5千円、子育て世帯2万円)を

中小企業限定分もあり、商工会議所会員以外も含め手上げしたところすべてのところで使えるようにして、全家庭が購入できるシステムに(広報10月号参照)

・市役所の臨時職員雇用11名(コロナの影響で職を失った方対象)

・感染症対策費の計上

など

今後の掛川市議会の日程(案)

11月定例会

- ・11月18日水 本会議(開会)
- ・12月2日水 本会議(一般質問)
- ・12月3日木 本会議(一般質問)
- ・12月4日金 本会議(一般質問)
- 議案質疑(委員会付託)
- ・12月9日水 常任委員会協議会
- ・12月18日金 本会議(閉会)

